

綱 引 協 会

1. 平成26年度役員氏名

- | | | | |
|-----------|-------|-----------|-------|
| (1) 会 長 | 北東 俊夫 | (2) 副 会 長 | 村尾 幸夫 |
| (3) 理 事 長 | 小川 紘暉 | (4) 評 議 員 | 小川 紘暉 |
| (5) 連絡責任者 | 田川 俊男 | | |

2. 平成26年度活動目標

スポーツ活動の中に綱引きを普及するとともに審判技術と資質の向上を図り富山県綱引連盟や加盟団体相互の連絡・親交を深め、綱引きの発展を活動の柱とする。

3. 平成26年度主な活動報告

- | | |
|---------------------------------|---------|
| ・富山県綱引連盟総会 | 4月 3日 |
| ・富山市綱引協会総会 | 4月25日 |
| ・第23回富山県スポレク祭・男女混合綱引大会審判員派遣(城端) | 5月24日 |
| ・北信越綱引審判員実技講習会(富山県) | 8月 3日 |
| ・第4回北信越綱引交流大会審判員派遣(射水市) | 8月 3日 |
| ・第33回富山県綱引選手権大会役員・審判員派遣(射水市) | 12月 7日 |
| ・第10回富山市民体育大会綱引競技会 | 12月14日 |
| ・2015年全日本綱引選手権大会審判員派遣(東京都) | 3月7日～8日 |
| ・他 県内や北信越地区の各綱引大会に審判員派遣 | 年間 |

4. その他の特記事項と課題

綱引競技人口の低迷は、各県同様の悩みを持っており、大会派遣に要する経費も大きく、北信越ブロック5県の役員会にてブロック大会を毎年北信越の中心である富山県にて開催を切望、綱引連盟理事会で開催を承認、富山県にてブロックの綱引交流会を開催することとなった。

なお、綱引競技は、地域の運動会で行う大人数の綱引きではなく、8名の選手で8名の合計体重が決められ、綱を4m自分のチーム側に引き合う競技である。チームワークが最も重要な競技である。練習でチームワークの確立や選手の育成が必要となっている。

併せて、審判員の養成やファミリーの部、ジュニアの部への普及活動と綱引の普及と振興を今後一層推進する必要がある。

競技会風景



綱 引 協 会

1. 平成27年度役員氏名

- | | | | |
|-----------|-------|-----------|-------|
| (1) 会 長 | 北東 俊夫 | (2) 副 会 長 | 村尾 幸夫 |
| (3) 理 事 長 | 小川 紘暉 | (4) 評 議 員 | 小川 紘暉 |
| (5) 連絡責任者 | 田川 俊男 | | |

2. 平成27年度活動目標

スポーツ活動の中に綱引きを普及するとともに審判技術と資質の向上を図り、富山市綱引協会と富山県綱引連盟や参加チームの連絡・親交を深め、綱引きの発展を活動の柱とする。

3. 平成27年度主な活動計画

- | | |
|---------------------------------|---------|
| ・富山県綱引連盟総会 | 4月 4日 |
| ・富山市綱引協会総会 | 4月25日 |
| ・第24回富山県スポレク祭・男女混合綱引大会審判員派遣(城端) | 5月23日 |
| ・北信越綱引審判員実技講習会(富山県) | 8月 2日 |
| ・第5回北信越綱引交流大会審判員派遣(射水市) | 8月 2日 |
| ・第34回富山県綱引選手権大会役員・審判員派遣(射水市) | 12月 6日 |
| ・第11回富山市民体育大会綱引競技会 | 12月13日 |
| ・2016年全日本綱引選手権大会審判員派遣(東京都) | 3月8日～9日 |
| ・県内や北信越地区の各綱引大会に審判員派遣 | 年間 |

4. その他の特記事項と課題

綱引きの競技人口は低迷が続き各県同様の悩みをかかえている。大会派遣に要する経費も大きく、北信越ブロック5県の交流会を北信越地区の中心である富山県が開催することとなり、ブロック交流会にあわせて審判員の研修会を兼ねて行い経費の節減を図った。

なお、綱引競技は、地域の運動会で行う大人数の綱引きではなく、8名の選手で8名の合計体重が決められ、綱を4m自分のチーム側に引き合う競技である。チームワークが最も重要であり、練習の中でチームワークの確立や選手の育成が必要である。

また、審判員の資質向上やファミリーの部、ジュニアの部への普及活動と綱引の普及を推進することが今後の大きな課題である。